

# TUC<sub>2</sub> AI・データサイエンス教育プログラム

## 【目的】

本プログラムは、社会の変化を理解し、データやAIに関する基礎的知識と基本的スキルを身に付けることで、Society5.0社会のビジネス現場において、AI関連の知識やICTスキルを活用し、データに根差したビジネスや、デジタル環境でのコミュニケーション能力など、広く社会に価値を生み出せる人材の育成を目的としている。

## 【プログラムの概要】

全学生を対象とするプログラムであり、必修プログラムは、全ての学生が履修する。また、1年次前期からの配当科目にて、2年間での知識・スキルの修得がスムーズにいくよう工夫されている。さらにプログラムは2段階のレベルで構成されており、必修プログラムでは、ビジネスを想定した社会の実データを題材として学修を行い、データの分析や得られた知見をビジネス志向のPBLに活用する。また、上位の選択プログラムは、Adobe Creative Cloudを利用した、知識・スキルの実践的な学びとして、コンテンツ制作の科目を中心に、主にデジタル環境におけるコミュニケーション能力に活きる内容となっている。

## AIデータサイエンスプログラム

### データリテラシー【1単位】

導入

基礎

### 情報リテラシー【1単位】

導入

基礎

心得

### ビジネスソフト活用【1単位】

導入

### AIデータサイエンスプログラム 修了証明発行

【修了条件】  
左記3科目（3単位）を全て修得

## AIデータサイエンスプログラム プラス

### プログラミング基礎【1単位】

### デジタル画像編集 (Photoshop)【2単位】

### デジタルデザイン (Illustrator)【2単位】

### 動画コンテンツ制作 (Premiere)【2単位】

### Webデザイン【2単位】

### AIデータサイエンスプログラム プラス 修了証明発行

【修了条件】  
上記必修科目に加え、  
左記「選択」から5単位以上を修得し、  
合計8単位以上を修得

## 【プログラムの内容・身に付けられる能力】

### AIデータサイエンスプログラム



- ・AIの発達で社会や人々の生活がどのように変化しているかを理解する
- ・社会や人々の生活においてデータがどのように活用されているか理解する
- ・様々な業界におけるデータの活用事例を知る
- ・セキュリティや倫理、コンプライアンスなどを理解する
- ・データの活用を行うための基本的スキルを身に付ける

### AIデータサイエンスプログラム プラス



- ・画像や動画の基本を理解し、デジタル表現力を身に付ける
- ・ICTを実社会で活用するスキルを身に付ける
- ・社会のニーズに即したコンテンツ制作について理解する



デジタルネイティブ  
人材の育成

専門スキル  
実践

必修・基礎部分

AIデータサイエンス  
プログラム プラス

AIデータサイエンス  
プログラム

## 【プログラムの特徴】

必修プログラムに配置されている科目は、正課程で全学生の必修科目として設置されており、本プログラムを全学生が修得する環境をついている。学修内容も基礎→専門・実践と体系的に構築されている。また、プログラム修了者には修了証を交付し、就職活動への活用も視野に入れている。